

新エネルギー政策の取組み

～ドイツ及びオーストリアに学ぶ新エネルギーの可能性と現状～

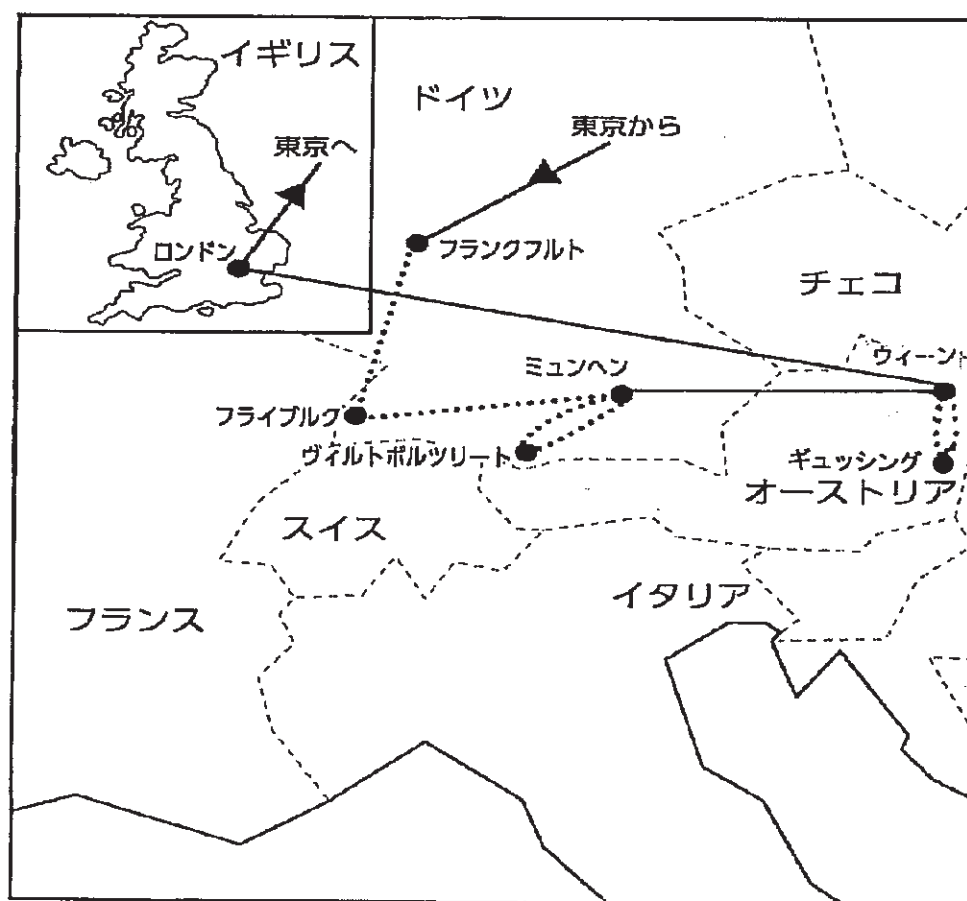


課題テーマ別調査研究 海外調査行程図

(インディペンデントテーマコース)

＜新エネルギー政策の取組み＞

フライブルク ・ ヴィルトボルツリート ・ ウィーン ・ ギュッシング



は　じ　め　に



県内の市町村では、依然として厳しい財政状況が続いている中で、一昨年に発生した東日本大震災を教訓とした防災対策の充実、急速に進展する少子高齢化への対応、地域活性化対策など、市町村が率先して取り組むべき課題は極めて多様であります。

また、これらの課題と併せ、住民の期待に応え、効率的で良質な行政サービスを実現していくためには、職員個人の能力・意欲を高め、積極的な行動力を備えることが重要となっております。

今年度の「課題テーマ別調査研究(海外)」はアサインドテーマコースを廃止し、インディペンデントテーマコースのみを実施しました。

このコースは協会が定めたテーマに関心と意欲を持って応募した若手・中堅の職員が自主的に調査研究を行う事業であり、このような時こそ、この事業が時代に即した柔軟で実践的な能力を備えた人材育成に役立つものと考えております。

今年度は、①「新エネルギー政策の取り組み」、②「社会福祉の取り組み」の2つのテーマで行われました。

集まった各コースの研究員（①12名、②15名）は、事前の準備として熱心に調査研究活動に取り組み、テーマに沿った訪問先や具体的な調査事項を決定し、両コースとも、10月14日から21日までの8日間で、海外調査（①ドイツ、オーストリア ②オランダ、デンマーク）を実施し、今般その調査研究の成果を報告書として取りまとめることができました。

この課題テーマ別調査研究に御尽力いただきました関係者の方々に心から感謝申し上げますとともに、調査研究の成果と海外での多様な価値観に触れた研究員の貴重な体験が、これからの市町村行政の中で活かされていくことを心から期待しております。

平成 25 年 2 月

公益財団法人神奈川県市町村振興協会
理 事 長　　内 野 優

目 次

調査研究報告

第1章 研究テーマについて	1
第2章 訪問先調査報告	
フライブルク市	15
1 フライブルク市役所	17
2 エコステーション	28
3 メガソーラー・スタジアム	40
4 ヴォーバン地区	48
ヴィルトポルツリート村	53
1 ヴィルトポルツリート村役場	54
ウィーン市	64
1 プファッフェナウごみ焼却場	67
2 ホテルスタッドハレ	71
ギュッシング市	76
1 ギュッシング市役所及びヨーロッパ再生可能エネルギー 研究所	78
第3章 まとめ	90
第4章 有識者による講演	
講演1 国際環境NGO FoE Japan 理事 瀬口 亮子 氏 欧州のエネルギー政策と現場について	96
講演2 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 研究員 古屋 将太 氏 再生可能エネルギーに係る国内の現状について	106
調査研究を終えて	116

参 考 資 料

○ 参考文献等	119
○ 平成24年度課題テーマ別調査研究（海外）実施要領	121
○ 国内研究日程	125
○ 海外調査日程	127
○ 研究メンバー表	128



小田原市
佐藤

茅ヶ崎市
森岡

相模原市
阿南

厚木市
渡辺

箱根町
多田

松田町
田代

海老名市
加賀

事務局
座間

横須賀市
太田

平塚市
河野

秦野市
高橋

藤沢市
指旗

座間市
小西



発行／公益財団法人 神奈川県市町村振興協会 〒231-0023 横浜市中区山下町 75 番地
 T E L . 045-664-7452 F A X . 045-662-4414 U R L . <http://www.ks-sinko.or.jp/>